

## 粟ヶ岳山行記録



目的地	粟ヶ岳	期 日	平成17年7月31日(日)
山人	笠原正雄単独	特 記	剣岳の予定を寒冷前線停滞で延期して出掛ける。

地名	(着)～(発)	天候	記 事
与 板	午前4:10発	曇	3時起床。朝からパッキング。食パン2枚食べて出掛ける。
キャンプ場 P	5:45	〃	加茂経由、約47km。まだ先まで進めるが、ここに駐車。ダム入山口まで林道歩き15分。入山口付近の路肩に数台あり。
稜線標柱	6:20	〃	H275/N37.34.29.1/E139.09.39.7
3合目分岐	6:40～6:55	〃	H487/N37.34.07.9/E139.09.42.1。ベンチ場。手前で追い越した年配2人隊が上がって来た。昨夜キャンプ場テント宿泊で、土砂降りだったと言っていた。笹だんご・かんびょう巻を食べる。少し蒸し暑い。
大栃平 H716	7:20	〃	H716/N37.33.54.5/E139.10.03.4。ベンチ場。展望が開けるが、モヤが掛かり霞んでいる。ここから少し下る。
6合目小ピーク	7:50	〃	H922/N37.33.51.5/E139.10.28.9。遭難プレートの鎖場を通過して、アルミ梯子を上ってここに。
水場分岐	8:05		「70m下る」の看板が地面に置いてある。
砥沢小屋 H1049	8:15～8:30	〃	H1048/N37.33.54.2/E139.10.43.3。誰も居ない。
8合目	8:50	〃	H1154/N37.33.41.6/E139.11.05.4。単独2人が降りて来た。5時から歩き出したと言う。似たような好き者だ。
権之神岳分岐	9:00	晴	H1238/N37.33.39.1/E139.11.11.4。笹や雑草が半袖の腕をなでる。
山 頂 H1292	9:20～10:15	〃	H1296/N37.33.18.7/E139.11.19.5。誰も居ない。350缶とぶどうパン、缶コーヒー。銀太郎・五剣谷・青里・矢筈、川内の核心部もモヤッて見える。日が差すと暑い。トンボ群舞。三条人2人が五百川から上がって来た。彼らも天気が心配で越後駒ヶ岳の予定を変更したとのことだ。
花 を 撮 る		〃	下山はすんなり歩こうとカメラをザックに入れて出発したが、やはり花が気になる。ザックを降ろしカメラを出す。ハコナ・ヤママコナ・エゾアザミ。
砥 沢 小 屋	11:00～11:05	〃	小屋の中で3人が休んでいた。外に女性1人。日差しが暑い。
3合目分岐	12:00～12:05	〃	靴紐をもう一度締め直す。
キャンプ場 P	12:45着	〃	車に置いていた500ペットボトルの水が、飲み頃の熱さになっていた。
美人の湯入浴		〃	直ぐ近くの道中にある(700円)。冷やし中華を食べる。
与 板 着	3:30着	〃	R290から下田、見附を経由する。距離は往路より少し長い。

6年前の5月に斉藤昭英夫妻と、4人で登っている。小屋から先は残雪で、山頂付近は座る場所も無いくらいに大勢で賑わっていた。夏になると熱さで入山者は少なくなるのだろうか、全体で10数人と出合った程度であった。

鎖場とアルミ梯子以外は、登山道に木道は無く、きざんだ階段等も極僅かで山らしい道だ。機会あれば春山に入りたいと思い、ポイント毎に緯度・経度を入力し、標識を撮影しながら進んだ。

下山時、権之神岳分岐を過ぎた辺りから日差しが強くなり、喬木帯に入っても、頭がボーッと出す程の熱さで、シャツが重たくなる程に大汗をかいた。